

トップメッセージ

「特別を超える価値」を提供し、持続可能な未来社会の実現に貢献する企業を目指します。

当社は、創業100周年を迎えた2016年8月、大同特殊鋼グループ経営理念を新たに制定すると同時に、グループスローガン「Beyond the Special」を掲げました。1916年の創業以来、「他とは違う特殊なもの、特殊な製法・工法」を追求し、多種多様な特色を備えた特殊鋼を生産してきました。そして、100年を経た今、産業界は大きな変革のときを迎え、当社を取り巻く環境も刻々と変化しています。この大変革時代を乗り越え、企業の社会的責任を果たしていくために「Beyond the Special」、「特別を超える価値」を提供し、持続可能な未来社会の実現に向けてよりよい“ものづくり”を続け、社会からのご期待・ご要望に応えていきたいと考えております。

2017中期経営計画を確実に実行し、企業競争力を高めていきます。

現在、2017年度を最終年度とする中期経営計画を実行中です。2016年度はその中間年度であり、初年度で種まきした諸施策を確実に結果につなげていくための重要な1年でした。重点施策の一つである『お客様との共創』では、製品別から顧客別組織へと改編した営業部門によるアカウント型営業を軸に、お客様と密接なコミュニケーションを進められるようになりました。いち早くニーズを捉え、グループ内の製品群、技術力を余すところなく提供し、共に創り上げていくための組織としてその機能を果たしつつあります。

『成長領域への注力』としては、2017年1月に磁石の製造販売を担うグループ会社2社を合併しました。EVやHEVなど自動車の電動化を支える高機能磁石は、今後大きく需要が拡大することを見込んでおります。この両社が合併することにより幅広い製品ラインアップが揃い、今後はお客

様のご要望に対し最適な製品を迅速に提案してまいります。加えて、自動車用ターボ部品を製造するグループ会社の設備増強も進めております。これまで欧州中心だったターボ搭載車は、中国や北米、更に日本にも広がりを見せています。燃費効率向上による省エネルギーに効果的なターボエンジンの世界的な需要に対し、高品質、高付加価値の製品を提供していきます。

2013年に製鋼プロセスの効率化を目的として、知多工場へ150トンアーク炉を新設しました。これに続き昨年は、渋川工場の25トン真空誘導炉、知多工場の再溶解炉が稼働を始めています。これらの戦略投資は、溶解プロセスの最適化や製造プロセスの更なる高度化により品質(Q)、コスト(C)、納期対応能力(D)の競争力を高めるためのものであり、今後の確実な戦力化を目指してまいります。また、タイでは自動車用型鍛造部品の製造が本格化しました。北米ヒューストンに設けた新拠点では、石油・ガス掘削分野の中長期の成長を見込み、営業活動を継続しています。このような海外拠点をしっかりと活用しながら、重点施策の3つめの柱『QCD競争力の強化』を推進してまいります。

これらの重点施策を実行に移していくうえで重要なのは「人」です。社員一人ひとりが働きがいを持ち、健康でいきいきと日々の業務に取り組むことこそが、ものづくり力を高め、企業を成長へと導く原動力となります。社員がその能力を最大限発揮し、企業と共に成長していくことができるよう「働き方改革」にも積極的に取り組んでまいります。まずは今年度より、会議の回数や時間、資料などを「半減」、生産面では、支・故障や型替えの頻度、所要時間を「半減」する「半減運動」をスタートさせました。今後は長時間労働の是正や社員の意識改革を進め、ワーク・ライフ・バランスを実現してまいります。



省エネルギーの推進と組織体制強化による、グループ一体となったリスクマネジメント・コンプライアンスに取り組んでまいります。

電力をはじめ多くのエネルギーを消費する当社にとって、限られた資源を有効活用し、環境負荷低減に最大限努めていくことは、経営の最重要課題であると認識しています。2016年秋に発効された「パリ協定」では、地球規模の環境問題について世界各国が互いに協力し、課題解決に当らなければならないという強い意志が表明されました。こうした状況も踏まえ当社では、中長期省エネルギー目標として、「2030年度までに10%以上削減(2013年度BAU*比)」を策定しています。この目標の達成に向け、更なる投資で各設備の省エネルギー化を推進していきます。

また、コンプライアンスおよびリスクマネジメントは企業経営の根幹を成すものであると位置づけ、大同特殊鋼グループ一体となった体制の強化に取り組んでいます。環境活動と連携したリスクマネジメントおよびコンプライアンス強化を目的に活動していた全社プロジェクトを「CRM(Corporate Risk Management)部」として組織を格上げし、監査および内部統制機能についても集約いたしました。これにより、海外を含む大同特殊鋼グループ全体を掌握し、機動力をもって課題解決を推進する体制を構築してまいります。

* BAU・・・Business as Usualの略。

素材の可能性を追求し、“ものづくり力”を高め、よりよい未来社会の実現に貢献してまいります。

当社は新たな100年を迎えるためのスタートを切りました。これから先も特殊鋼という素材と共に、次の世代へより豊かで明るい未来を引き継いでいくための“ものづくり力”を一層高めていきたいと考えています。そして、持続可能な未来社会の実現のため、「特別を超えた」ところにある素材の可能性を信じ、追求し、人々の暮らしと産業の発展に貢献する企業であり続けたいと考えています。

このCSR報告書を通じまして当社の活動内容をご理解いただき、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

代表取締役社長

石黒 武